

## 公告

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔

下記のとおり一般競争入札を実施します。陸上自衛隊の入札及び契約心得等をご承知の上、ご参加下さい。

### 1 競争に付する事項

#### (1) 競争入札に付する事項、競争入札執行の日時・場所

件名	規格	再生可能エネルギー比率	入札日時
ア 今津駐屯地で使用する電気	仕様書のとおり	100%	令和8年1月27日(火) 1000
		60%以上	令和8年1月27日(火) 1100
		0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)	令和8年1月27日(火) 1300
イ 饗庭野演習場で使用する電気	仕様書のとおり	100%	令和8年1月27日(火) 1005
		60%以上	令和8年1月27日(火) 1105
		0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)	令和8年1月27日(火) 1305
ウ 饗庭野射撃場で使用する電気	仕様書のとおり	100%	令和8年1月27日(火) 1010
		60%以上	令和8年1月27日(火) 1110
		0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)	令和8年1月27日(火) 1310
エ 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気	仕様書のとおり	100%	令和8年1月27日(火) 1015
		60%以上	令和8年1月27日(火) 1115
		0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)	令和8年1月27日(火) 1315
オ 今津駐屯地で使用する電気(低圧)	仕様書のとおり	100%	令和8年1月27日(火) 1020
		60%以上	令和8年1月27日(火) 1120
		0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)	令和8年1月27日(火) 1320

#### (2) 需要場所

- ア 陸上自衛隊今津駐屯地 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地  
イ 饗庭野演習場 滋賀県高島市今津町  
ウ 饗庭野射撃場 滋賀県高島市今津町今津字南大林2156  
エ 饗庭野演習場廠舎地区 滋賀県高島市今津町今津字奈良坂

#### (3) 使用期間

令和8年4月1日(水) 0:00 ~ 令和9年3月31日(水) 24:00

### 2 入札参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 令和7・8・9年度の競争参加資格(全省庁統一資格)において「物品の販売」のA、B、C、D等級に格付され、近畿地区の競争参加資格を有している者。  
※ 資格審査結果通知書の写しを入札日までに提出すること。
- (4) 電気事業法第2条の2の規定に基づき、小売電気事業者の登録を受けている者。
- (5) 予算決算及び会計令第73条の規定に基づき、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギーの活

用、再生可能エネルギーの導入、グリーン電力証書の譲渡、需要家への省エネルギー・節電に関する情報提供の取組み並びに電源構築及び二酸化炭素排出係数の情報開示に関し、入札適合条件を満たす適合証明書を提出すること。

- (6) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者については、競争参加を認めない。
- (7) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者とは契約を行わない。
- (8) 入札心得に定める「暴力団排除に関する誓約事項」に基づく誓約を行わない者の競争参加は認めない。
- (9) 防衛省大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (10) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のあるものであって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省との契約を行おうとする者でないこと。
- (11) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
- (12) 入札及び契約心得を確認し、その内容に疑義なく承諾した者であること。
- (13) 入札に参加する者は、1（1）ア～オのそれぞれの入札に応じた「特定電源割当計画書」を全て提出するものとする。

この際、0%（再生可能エネルギー比率に係る条件なし）の入札に参加をする場合においても、再生可能エネルギー比率（%）を0と記載した「特定電源割当計画書」を提出するものとする。

### 3 適合証明書及び特定電源割当計画書の提出等

#### (1) 入札参加希望者の書類提出

入札参加希望者は、2（5）及び2（13）に記載の適合証明書及び特定電源割当計画書を提出すること。

#### (2) 提出方法

持参、郵送（FAX不可）

#### (3) 提出期限

令和8年1月21日（水）17時

### 4 本入札に適用する仕様書及び入札参加の可否判定

入札参加希望者から提出された「適合証明書」及び「特定電源割当計画書」をもって、本入札に適用する仕様書及び入札参加の可否について判定する。その判定結果は、令和8年1月23日（金）までに書面（FAX含む）により入札参加希望者に回答する。

- (1) 2（1）から（13）までの全ての必要な資格を満たし、かつ、再生可能エネルギー比率100%にて応札をできる者がいる場合は「仕様書A（再生可能エネルギー比率100%）」を採用するものとし、その者の競争参加を認める。
- (2) 第1号の要件を満たせない場合において、2（1）から（13）までの全ての必要な資格を満たし、かつ、再生可能エネルギー比率60%以上で応札できる者がいる場合は「仕様書B（再生可能エネルギー比率60%以上）」を採用するものとし、その者の競争参加を認める。
- (3) 第2号の要件を満たせない場合において、2（1）から（13）までの全ての必要な資格を満たす者がいる場合、「仕様書C（再生可能エネルギー比率に係る条件なし）」を採用するものとし、再生可能エネルギー比率についての条件は付さないこととする。

### 5 契約条項を示す場所

入札関係書類は、下記に示す期間、陸上自衛隊今津駐屯地第397会計隊今津派遣隊 契約班窓口において配布する。

令和7年12月19日（金）～令和8年1月27日（火）（土曜日、日曜日、祝日、令和7年12月29日（木）から令和8年1月5日（月）の間を除く0900～1630）

### 6 入札説明会及び競争入札執行の場所並びに入札実施要領

- (1) 入札説明会：一同に会しての説明会は実施しない。ただし、現場確認及び説明を希望するのは、前項に示す期間中、下記問い合わせ先までご連絡いただき、日程の調整を行ってください。
- (2) 入札執行場所：陸上自衛隊今津駐屯地 第397会計隊今津派遣隊 会計隊入札室

### (3) 入札実施要領

ア 1 (1) ア～オ (再生可能エネルギー比率100%)の入札で応札をできる者がいる場合

再生可能エネルギー比率100%の入札を実施する。この場合において、初度の入札で決定しなかった場合、直ちに再度入札を実施する。そのため再度入札への入札を希望する場合は、再度入札のための金額が記載された入札書を準備のこと。

イ 再生可能エネルギー比率100%の入札で落札者がいなかった場合 (再度入札を含む)、あるいは再生可能エネルギー比率100%の入札で応札をできる者がなかった場合

再生可能エネルギー比率60%以上の入札を実施する。この場合において初度の入札で決定しなかった場合、直ちに再度入札を実施する。そのため再度入札への入札を希望する場合は、再度入札のための金額が記載された入札書を準備のこと。

ウ 再生可能エネルギー比率60%以上の入札で落札者がいなかった場合 (再度入札を含む)、あるいは再生可能エネルギー比率60%以上の入札で応札をできる者がなかった場合

0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)の入札を実施する。この場合において初度の入札で決定しなかった場合、直ちに再度入札を実施する。そのため再度入札への入札を希望する場合は、再度入札のための金額が記載された入札書を準備のこと。

エ 入札において、再生可能エネルギー比率100%の入札案件が落札に至った場合、再生可能エネルギー比率60%以上、0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)の入札は全て実施しない。

オ 入札において、再生可能エネルギー比率60%以上の入札案件が落札に至った場合、0%(再生可能エネルギー比率に係る条件なし)の入札は全て実施しない。

## 7 保証金等に関する事項

(1) 入札保証金：免 除

(2) 契約保証金：免 除

(3) 違約金：落札者が「入札及び契約心得」に従って契約の締結手続きをしない場合には、落札者が契約締結に応じないものとみなし、落札価格の100分の5に相当する金額を違約金として徴収し、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上の金額を違約金として徴収する。

## 8 入札方法及び落札の決定

(1) 落札決定方式：品目毎総額 (予定総価) 決定。(ただし、契約締結においては、基本料金単価及び電力量料金単価による単価契約とする。)

(2) 入札金額は、契約電力に対する単価 (基本料金単価) 及び使用電気量に対する単価 (電力量料金単価) を算定基礎とし、仕様書に記載する月毎の予定契約電力及び予定使用電力量に基づき算定した金額の年総額とすること。

(3) 入札金額の算定において、力率割引又は割増、発電費用等に係る燃料価格変動の調整及び電力事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は、考慮しないこと。

(4) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に消費税法で規定する消費税率に基づく消費税に相当する金額を加算した金額 (当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。) をもって落札金額とするので、入札者は消費税、地方消費税の課税事業者、免税事業者であることに拘わらず入札書には見積もった契約金額から消費税法で規定する消費税率に基づく消費税に相当する金額を差し引いた金額を記載すること。

(5) 予定価格の範囲内で最低価格をもって入札した者を落札者とする。落札となるべき同額の入札者が2人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。

(6) 入札書には内訳書を添付すること。

## 9 入札の無効

(1) 第2項で示した競争に参加する者に必要な資格のない者のした入札

(2) 入札金額、入札者の氏名及び押印された印影等が判別し難い入札

(3) 電報、電信・電話・FAXによる入札

(4) その他入札に関する条件に違反した場合

## 10 契約書等の作成

- (1) 全 般  
落札決定後、速やかに単価契約書を作成する。単価契約書の作成要領は、落札者に個別説明をする。
- (2) 契約書の作成（契約締結）時期  
令和8年4月1日
- (3) 付帯する特約条項  
ア 談合等の不正行為に関する特約条項  
イ 暴力団排除に関する特約条項  
ウ 単価契約に関する特約条項

## 11 その他

- (1) 契約の成立の時期は、契約書に双方が記名押印した時とする。
  - (2) 郵便入札は、令和8年1月26日（月）16時00分必着分までを有効とする。入札書を郵送する旨を 事前連絡するとともに、便着を必ず確認すること。なお、落札となるべき同額の入札の場合は、本入札に関係の無い職員によりくじ引きを実施する。郵便入札においても、一の案件において再度入札となった場合、その再度入札への入札を希望する場合は、再度入札のための入札書も送付すること。
  - (3) 陸上自衛隊の入札及び契約心得等は、第397会計隊今津派遣隊事務所で閲覧できる。また、陸上自衛隊中部方面会計隊ホームページでも閲覧できる。
  - (4) 市場価格調査にご協力をお願いします。
  - (5) 6（3）入札実施要領中、ア項の初度入札で落札した場合の再度入札書あるいはエ・オ項に該当した入札書に関しては、開封することなく返送する。入札書の返送を受けた業者は、別添の受領書に異状なく受領した旨を記載し返送することとする。
  - (6) 入札書に関しては、1（1）ア～オ（再生可能エネルギー比率100%、再生可能エネルギー比率60%以上、0%（再生可能エネルギー比率に係る条件なし））までの入札案件ごと、それぞれの案件名、入札日時及び場所を記載した個別の封書に、各案件の入札書を個別に封入することとする。また、6（3）入札実施要領に示す再度入札への入札を希望する場合は、案件名、入札日時及び場所に加え案件名の最後に（再度入札分）と記載した個別の封書に、各案件の再度入札書を個別に封入することとする。
  - (7) 入札参加を希望する者は、下記の問い合わせ先へ入札日までに連絡をすること。また、「資格審査結果通知書（写し）」の提出をもって入札参加の意思表示とするので、「資格審査結果通知書（写し）」を入札日当日迄に提出すること。（FAX可）
  - (8) 「入札書」「委任状」の書式は当隊で準備するので、事前に入手すること。
  - (9) 代表者以外で入札に参加する業者は、入札書に添えて委任状を提出すること（様式は、当隊で準備するので事前に取得すること。）。
  - (10) 入札及び契約に関する事項の問い合わせ先  
〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地  
陸上自衛隊今津駐屯地 第397会計隊今津派遣隊 契約班（担当：山崎（やまざき））  
TEL：0740-22-2581（内線345） FAX：0740-22-1309  
Mail：ma351fin-ma@inet.gsdf.mod.go.jp
  - (11) 仕様・履行等に関する事項の問い合わせ先（窓口）  
〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地  
陸上自衛隊今津駐屯地 今津駐屯地業務隊管理科営繕班（担当：斎藤（さいとう））  
TEL：0740-22-2581（内線317） FAX：0740-22-130
- 本公告は、陸上自衛隊今津駐屯地第397会計隊今津派遣隊掲示板、陸上自衛隊大久保駐屯地第397会計隊掲示板、陸上自衛隊大津駐屯地第397会計隊大津派遣隊掲示板及び中部方面会計隊ホームページ<https://www.mod.go.jp/gsdf/mae/mafin/>に掲示。



# 適合証明書

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住 所  
商号又は名称  
代表者氏名

下記の内容に相違ないことを証明します。

## 1 電源構成及び二酸化炭素排出係数の情報の開示方法

開 示 方 法	番 号
①ホームページ ②パンフレット ③チラシ ④その他 ( )	

## 2 令和4年度の状況

	項 目	自社の基準値	点 数
①	令和4年度 1kWh 当たりの二酸化炭素排出係数 (単位: kg-CO2/kWh)		
②	令和4年度の未利用エネルギー活用状況		
③	令和4年度の再生可能エネルギー導入状況		

	項 目	取組の有無	点 数
④	需要家への省エネルギー・節電に関する情報提供の取組		

① ~ ④ の 合 計 点 数	
-----------------	--

注1) 「自社の基準値」、「譲渡予定量」及び「点数」には、別紙第口により算出した値を記載

注2) 2の合計点数が70点以上となった者を本案件の入札適合者とする。

注3) 1及び2の条件を満たすことを示す書類を添付すること。



再生可能エネルギー由来電力量の内訳（ 月）

1 再エネ電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量（kwh）
		合計（kwh）	

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量	発電期間	認証番号
		合計（kwh）			

総計（kwh）

電気事業者 殿

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔

二酸化炭素排出係数、環境への負荷の低減に関する取組みの状況に関する条件の  
提示について（依頼）

表記について、国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号）に基づく入札参加条件等について、下記のとおり提示しますので、条件等をお読みの上、入札参加を希望される場合は、「適合証明書」に所要の事項を記入の上、令和8年1月21日（水）1700までに第397会計隊今津派遣隊契約班まで提出してください。

## 記

### 1 条件

- (1) 別添の配点表の要素に示す①から③に示す得点の合計が70点以上であること。①から③の得点の合計が70点に満たない場合、①から③の得点に、④の得点を加えた合計が70点以上であること。
- (2) 電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別処置法（平成14年法律第62号）第8条第1項の勧告を受けていないこと。
- (3) 環境省等より最新の配点表や様式が示された場合については、適合証明書等について入札までに修正を行うことがあるが、その場合は最新のものにおいて処置を実施し、適合することを要する。

### 2 契約期間内における努力等

- (1) 契約相手方は、契約期間の12カ月間についても、第1項第1号の配点表の得点の合計が70点以上となるように電力を供給するよう努めるものとする。
- (2) 第1項第1号の基準を満たして電力供給を行っているか否かの確認のため、必要に応じ関係書類の提出及び説明を求めることがある。また、契約相手方は、契約履行期間終了後、可能な限り速やかに第1項第1号の基準を満たして電力供給を行ったか否か、通報するものとする。

### 3 入札の無効

入札心得に定める場合及び第1項に定める条件に満たない者の入札は、無効とする。

要素	区分	配点
① 令和5年度 1kWh 当たりの二酸化炭素排出係数 (単位 : kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.000 以上      0.375 未満	70
	0.375 以上      0.400 未満	65
	0.400 以上      0.425 未満	60
	0.425 以上      0.450 未満	55
	0.450 以上      0.475 未満	50
	0.475 以上      0.500 未満	45
	0.500 以上      0.525 未満	40
	0.525 以上      0.550 未満	35
	0.550 以上      0.575 未満	30
	0.575 以上      0.600 未満	25
	0.600 以上      0.690 未満	20
	0.690 以上	0
② 令和5年度の未利用エネルギー活用状況	0.675 %以上	10
	0 %超      0.675 %未満	5
	活用していない	0
③ 令和5年度の再生可能エネルギー導入状況	7.50 %以上	20
	5.00 %以上      7.50 %未満	15
	2.50 %以上      5.00 %未満	10
	0 %超      2.50 %未満	5
	活用していない	0
④ 需要家への省エネルギー・節電に関する 情報提供の有無	取り組んでいる	5
	取り組んでいない	0

※環境省等より、最新の情報があつた場合、修正をすることがある。

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

- 1 件 名： 今津駐屯地で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 510kw (デマンド契約)  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 1,883,600KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	重負荷時間電力量 (KWH)	昼間時間電力量 (KWH)	夜間時間電力量 (KWH)	力率 (%)
令和8年4月		510	132,500	292		79,500	53,000	100
令和8年5月		510	116,500	263		69,900	46,600	100
令和8年6月		510	140,400	457		84,240	56,160	100
令和8年7月		510	179,800	492	61,132	48,546	70,122	100
令和8年8月		510	184,600	464	62,764	49,842	71,994	100
令和8年9月		510	171,100	422	58,174	46,197	66,729	100
令和8年10月		510	133,100	344		79,860	53,240	100
令和8年11月		510	140,000	305		84,000	56,000	100
令和8年12月		510	170,900	364		102,540	68,360	100
令和9年1月		510	177,300	419		106,380	70,920	100
令和9年2月		510	174,000	464		104,400	69,600	100
令和9年3月		510	163,600	383		98,160	65,440	100
			1,883,800		182,070			

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 100% とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>
- (10) 重負荷時間電力量：  
 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間の毎日午前 10 時から午後 5 時までの時間で使用する電力量  
 但し、日曜日、祝日 (「国民の祝日に関する法律」に規定する休日) の該当する時間で使用する電力量を除く。
- (11) 昼間時間電力量：  
 毎日午前 8 時から午後 10 時までの時間で使用する電力量。但し、重負荷時間および日曜日、祝日 (「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)、電力会社が定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。
- (12) 夜間時間電力量： 重負荷時間電力量および昼間時間電力以外の電力量
- (13) 契約期間： 自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ~ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
- (14) 電力量の検針等： 自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。
- (15) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。
- (16) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。
- (17) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。
- (18) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	今津駐屯地で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 提出様式例

○○年○月○日

特定電源割当証明書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
 株式会社○○○○  
 代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
 また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

1 お客様情報

お客様番号 ○○○○  
 需要施設名 ○○○○  
 需要施設住所 ○○県○○市○○  
 契約電力 ○○○○ kW

2 供給期間

○○年○月○日～○月○日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生可能由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再生比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

1 再生電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)
----------

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

- 1 件名： 今津駐屯地で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務)

4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 510kw (デマンド契約)  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 1,883,800KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	重負荷時間電力量 (KWH)	昼間時間電力量 (KWH)	夜間時間電力量 (KWH)	力率 (%)
令和8年4月		510	132,500	292		79,500	53,000	100
令和8年5月		510	116,500	263		69,900	46,600	100
令和8年6月		510	140,400	457		84,240	56,160	100
令和8年7月		510	179,800	492	61,132	48,546	70,122	100
令和8年8月		510	184,600	464	62,764	49,842	71,994	100
令和8年9月		510	171,100	422	58,174	46,197	66,729	100
令和8年10月		510	133,100	344		79,860	53,240	100
令和8年11月		510	140,000	305		84,000	56,000	100
令和8年12月		510	170,900	364		102,540	68,360	100
令和9年1月		510	177,300	419		106,380	70,920	100
令和9年2月		510	174,000	464		104,400	69,600	100
令和9年3月		510	163,600	383		98,160	65,440	100
			1,883,800		182,070			

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 60%以上とすること。

参照：付紙第1「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

(10) 重負荷時間電力量：

7月1日から9月30日までの期間の毎日午前10時から午後5時までの時間で使用する電力量

但し、日曜日、祝日(「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)の該当する時間で使用する電力量を除く。

(11) 昼間時間電力量：

毎日午前8時から午後10時までの時間で使用する電力量。但し、重負荷時間および日曜日、祝日(「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)、電力会社が定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。

(12) 夜間時間電力量： 重負荷時間電力量および昼間時間電力以外の電力量

(13) 契約期間： 自 令和8年4月1日 0時 ~ 至 令和9年3月31日 24時

(14) 電力量の検針等： 自動検針装置 有

検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。

(15) 需給地点： 需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。

(16) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。

(17) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。

(18) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面(付紙第2)で半期ごとに提出することとする。

件名	今津駐屯地で使用する電気
種別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 提出様式例

○○年○月○日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
株式会社○○○○  
代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

1 お客様情報  
 お客様番号 ○○○○  
 需要施設名 ○○○○  
 需要施設住所 ○○○県○○市○○  
 契約電力 ○○○○ kW

2 供給期間  
 ○○年○月○日～○月○日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)
----------

## 仕様書 C (再生可能エネルギー比率 30%以上)

- 1 件 名： 今津駐屯地で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 510kw  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 1,883,800KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	重負荷時間電力量 (KWH)	昼間時間電力量 (KWH)	夜間時間電力量 (KWH)	力率 (%)
令和8年4月		510	132,500	292		79,500	53,000	100
令和8年5月		510	116,500	263		69,900	46,600	100
令和8年6月		510	140,400	457		84,240	56,160	100
令和8年7月		510	179,800	492	61,132	48,546	70,122	100
令和8年8月		510	184,600	464	62,764	49,842	71,994	100
令和8年9月		510	171,100	422	58,174	46,197	66,729	100
令和8年10月		510	133,100	344		79,860	53,240	100
令和8年11月		510	140,000	305		84,000	56,000	100
令和8年12月		510	170,900	364		102,540	68,360	100
令和9年1月		510	177,300	419		106,380	70,920	100
令和9年2月		510	174,000	464		104,400	69,600	100
令和9年3月		510	163,600	383		98,160	65,440	100
			1,883,800		182,070			

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再エネ比率 30%以上とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <http://there100.org/going-100>
- (10) 重負荷時間電力量：  
 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間の毎日午前 10 時から午後 5 時までの時間で使用する電力量  
 但し、日曜日、祝日 (「国民の祝日に関する法律」に規定する休日) の該当する時間で使用する電力量を除く。
- (11) 昼間時間電力量：  
 毎日午前 8 時から午後 10 時までの時間で使用する電力量。但し、重負荷時間および日曜日、祝日 (「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)、電力会社が定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。
- (12) 夜間時間電力量： 重負荷時間電力量および昼間時間電力以外の電力量
- (13) 契約期間： 自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ~ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
- (14) 電力量の検針等： 自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。
- (15) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。
- (16) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。
- (17) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。
- (18) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	今津駐屯地で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書C (再生可能エネルギー比率30%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

<b>自家発電 (Self-generated electricity)</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力 (Purchased electricity)</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成



## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

- 1 件 名： 今津駐屯地で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 510kw (デマンド契約)  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 1,883,800KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	重負荷時間電力量 (KWH)	昼間時間電力量 (KWH)	夜間時間電力量 (KWH)	力率 (%)
令和8年4月		510	132,500	292		79,500	53,000	100
令和8年5月		510	116,500	263		69,900	46,600	100
令和8年6月		510	140,400	457		84,240	56,160	100
令和8年7月		510	179,800	492	61,132	48,546	70,122	100
令和8年8月		510	184,600	464	62,764	49,842	71,994	100
令和8年9月		510	171,100	422	58,174	46,197	66,729	100
令和8年10月		510	133,100	344		79,860	53,240	100
令和8年11月		510	140,000	305		84,000	56,000	100
令和8年12月		510	170,900	364		102,540	68,360	100
令和9年1月		510	177,300	419		106,380	70,920	100
令和9年2月		510	174,000	464		104,400	69,600	100
令和9年3月		510	163,600	383		98,160	65,440	100
			1,883,800		182,070			

- (9) 重負荷時間電力量： 7月1日から9月30日までの期間の毎日午前10時から午後5時までの時間で使用する電力量  
 但し、日曜日、祝日(「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)の該当する時間で使用する電力量を除く。  
 (10) 昼間時間電力量： 毎日午前8時から午後10時までの時間で使用する電力量。但し、重負荷時間および日曜日、祝日(「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)、電力会社が定める日の該当する時間で使用する電力量を除く。  
 (11) 夜間時間電力量： 重負荷時間電力量および昼間時間電力以外の電力量  
 (12) 契約期間： 自 令和8年4月1日 0時 ~ 至 令和9年3月31日 24時  
 (13) 電力量の検針等： 自動検針装置 有  
 検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (14) 需給地点： 需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (15) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (16) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (17) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面(付紙第1)で半期ごとに提出することとする。

件 名	今津駐屯地で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書D（再生可能エネルギー比率に係る条件なし）

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 提出様式例

特 定 電 源 割 当 証 明 書												〇〇年〇月〇日	
〇〇〇〇 〇〇 〇〇 殿													
												〇〇県〇〇市〇〇 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	
<p>〇〇年〇半期に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことをここに証する。 また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転したと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。</p>													
1 お客様情報													
お客様番号												〇〇〇〇	
需要施設名												〇〇〇〇	
需要施設住所												〇〇県〇〇市〇〇	
契約電力												〇〇〇〇 kW	
2 供給期間													
〇〇年〇月〇日～〇月〇日													
3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

- 1 件名： 饗庭野演習場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 40kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 103,700KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		40	7,700	31	100
令和8年5月		40	7,300	25	100
令和8年6月		40	9,500	34	100
令和8年7月		40	10,800	34	100
令和8年8月		40	10,200	22	100
令和8年9月		40	10,700	35	100
令和8年10月		40	8,500	22	100
令和8年11月		40	8,400	26	100
令和8年12月		40	7,500	28	100
令和9年1月		40	7,400	27	100
令和9年2月		40	8,700	29	100
令和9年3月		40	7,000	22	100
			103,700		

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 100% とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件名	饗庭野演習場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 提出様式例

○○年○月○日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
 株式会社○○○  
 代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
 また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

- 1 お客様情報
  - お客様番号 ○○○○
  - 需要施設名 ○○○○
  - 需要施設住所 ○○県○○市○○
  - 契約電力 ○○○○ kW
- 2 供給期間
  - 年○月○日～○月○日
- 3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

- 1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			

  

- 2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	認証番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)
----------

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

- 1 件 名： 饗庭野演習場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 40kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 103,700KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		40	7,700	31	100
令和8年5月		40	7,300	25	100
令和8年6月		40	9,500	34	100
令和8年7月		40	10,800	34	100
令和8年8月		40	10,200	22	100
令和8年9月		40	10,700	35	100
令和8年10月		40	8,500	22	100
令和8年11月		40	8,400	26	100
令和8年12月		40	7,500	28	100
令和9年1月		40	7,400	27	100
令和9年2月		40	8,700	29	100
令和9年3月		40	7,000	22	100
			103,700		

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 60%以上とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場で使用する電気
種 別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 提出様式例

○○年○月○日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
株式会社○○○○  
代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

1 お客様情報  
 お客様番号 ○○○○  
 需要施設名 ○○○○  
 需要施設住所 ○○○県○○市○○  
 契約電力 ○○○○ kW

2 供給期間  
 ○○年○月○日～○月○日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	認証番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)
----------

## 仕様書 C (再生可能エネルギー比率 30%以上)

- 1 件 名： 饗庭野演習場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 40kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 103,700KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年 最大電力	力率 (%)
令和8年4月	40	7,700	31	100
令和8年5月	40	7,300	25	100
令和8年6月	40	9,500	34	100
令和8年7月	40	10,800	34	100
令和8年8月	40	10,200	22	100
令和8年9月	40	10,700	35	100
令和8年10月	40	8,500	22	100
令和8年11月	40	8,400	26	100
令和8年12月	40	7,500	28	100
令和9年1月	40	7,400	27	100
令和9年2月	40	8,700	29	100
令和9年3月	40	7,000	22	100
		103,700		

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再エネ比率 30%以上とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <http://there100.org/going-100>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書C (再生可能エネルギー比率30%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

<b>自家発電 (Self-generated electricity)</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力 (Purchased electricity)</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成

## 提出様式例

2021年〇月〇日

## 特定電源割当証明書

●●●●

〇〇 〇〇 様

〇〇県〇〇市〇〇  
 株式会社〇〇〇〇  
 代表取締役 〇〇 〇〇 印

2020年〇半期に以下の通り●●●●に電力を供給したことをここに証する。

また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、●●●●に移転したと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

## 1 お客様情報

お客様番号 〇〇〇〇  
 需要施設名 〇〇〇〇  
 需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇  
 契約電力 〇〇〇〇kW

## 2 供給期間

2020年〇月〇日～〇月〇日

## 3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生可能エネルギー由来電力量 (kWh)【A】													
供給電力量 (kWh)【B】													
再生可能比率 (%)【A/B】													

## 【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

## 1 再生可能電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量(kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
		合計(kWh)	

## 2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量	発電期間	認証番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	〇〇
		合計(kWh)			

総計(kWh)

## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

- 1 件 名： 饗庭野演習場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 40kw  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 103,700KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

項目 年月	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年 最大電力	力率 (%)
令和8年4月	40	7,700	31	100
令和8年5月	40	7,300	25	100
令和8年6月	40	9,500	34	100
令和8年7月	40	10,800	34	100
令和8年8月	40	10,200	22	100
令和8年9月	40	10,700	35	100
令和8年10月	40	8,500	22	100
令和8年11月	40	8,400	26	100
令和8年12月	40	7,500	28	100
令和9年1月	40	7,400	27	100
令和9年2月	40	8,700	29	100
令和9年3月	40	7,000	22	100
		103,700		

- (9) 契約期間：自 令和8年4月1日 0時 ～ 至 令和9年3月31日 24時  
 (10) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (11) 需給地点：需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (12) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (13) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (14) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第1) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場で使用する電気
種 別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 提出様式例

○○年○月○日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
株式会社○○○○  
代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

- 1 お客様情報
  - お客様番号 ○○○○
  - 需要施設名 ○○○○
  - 需要施設住所 ○○○県○○市○○
  - 契約電力 ○○○○ kW
- 2 供給期間
  - 年○月○日～○月○日
- 3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

- 1 再エネ電気
 

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			
- 2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）
 

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

- 1 件 名： 饗庭野射撃場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 96kw  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 115,900KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		96	9,800	29	100
令和8年5月		96	8,900	56	100
令和8年6月		96	9,800	31	100
令和8年7月		96	11,000	72	100
令和8年8月		96	7,700	34	100
令和8年9月		96	8,700	45	100
令和8年10月		96	9,300	75	100
令和8年11月		96	9,300	96	100
令和8年12月		96	9,700	84	100
令和9年1月		96	8,300	96	100
令和9年2月		96	12,000	56	100
令和9年3月		96	11,400	54	100
			115,900		

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 100% とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>  
 (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野射撃場で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野射撃場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

## 提出様式例

○○年○月○日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

○○○○  
○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
株式会社○○○○  
代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

1 お客様情報  
 お客様番号 ○○○○  
 需要施設名 ○○○○  
 需要施設住所 ○○○県○○市○○  
 契約電力 ○○○○ kW

2 供給期間  
 ○○年○月○日～○月○日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	認証番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)
----------

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

- 1 件名： 饗庭野射撃場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 96kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 115,900KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		96	9,800	29	100
令和8年5月		96	8,900	56	100
令和8年6月		96	9,800	31	100
令和8年7月		96	11,000	72	100
令和8年8月		96	7,700	34	100
令和8年9月		96	8,700	45	100
令和8年10月		96	9,300	75	100
令和8年11月		96	9,300	96	100
令和8年12月		96	9,700	84	100
令和9年1月		96	8,300	96	100
令和9年2月		96	12,000	56	100
令和9年3月		96	11,400	54	100
			115,900		

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再生可能エネルギー比率 60%以上とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>
- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
- (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。
- (12) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件名	饗庭野射撃場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野射撃場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

### 提出様式例

〇〇年〇月〇日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

〇〇〇〇  
〇〇 〇〇 殿

〇〇県〇〇市〇〇  
株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年〇半期に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転したと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

1 お客様情報  
 お客様番号 〇〇〇〇  
 需要施設名 〇〇〇〇  
 需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇  
 契約電力 〇〇〇〇 kW

2 供給期間  
 〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再エネ電気

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	
合計 (kWh)					

総計 (kWh)

## 仕様書 C (再生可能エネルギー比率 30%以上)

- 1 件 名： 今津駐屯地射撃場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 96kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 115,900KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		96	9,800	29	100
令和8年5月		96	8,900	56	100
令和8年6月		96	9,800	31	100
令和8年7月		96	11,000	72	100
令和8年8月		96	7,700	34	100
令和8年9月		96	8,700	45	100
令和8年10月		96	9,300	75	100
令和8年11月		96	9,300	96	100
令和8年12月		96	9,700	84	100
令和9年1月		96	8,300	96	100
令和9年2月		96	12,000	56	100
令和9年3月		96	11,400	54	100
			115,900		

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再エネ比率 30%以上とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <http://there100.org/going-100>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	今津駐屯地射撃場で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書C (再生可能エネルギー比率30%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中100%を保持する予定。
- (2) フリカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地射撃場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

<b>自家発電 (Self-generated electricity)</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力 (Purchased electricity)</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成

## 提出様式例

2021年○月○日

## 特定電源割当証明書

●●●●

○○ ○○ 様

○○県○○市○○  
 株式会社○○○○  
 代表取締役 ○○ ○○ 印

2020年○半期に以下の通り●●●●に電力を供給したことをここに証する。

また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、●●●●に移転したと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

## 1 お客様情報

お客様番号 ○○○○  
 需要施設名 ○○○○  
 需要施設住所 ○○県○○市○○  
 契約電力 ○○○○kW

## 2 供給期間

2020年○月○日～○月○日

## 3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh)【A】													
供給電力量 (kWh)【B】													
再エネ比率 (%)【A/B】													

## 【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

## 1 再エネ電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量(kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計(kWh)			

## 2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量	発電期間	認証番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	○○
合計(kWh)					

総計(kWh)

\_\_\_\_\_

## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

- 1 件 名： 饗庭野射撃場で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 96kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 115,900KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

項目 年月	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年 最大電力	力率 (%)
令和8年4月	96	9,800	29	100
令和8年5月	96	8,900	56	100
令和8年6月	96	9,800	31	100
令和8年7月	96	11,000	72	100
令和8年8月	96	7,700	34	100
令和8年9月	96	8,700	45	100
令和8年10月	96	9,300	75	100
令和8年11月	96	9,300	96	100
令和8年12月	96	9,700	84	100
令和9年1月	96	8,300	96	100
令和9年2月	96	12,000	56	100
令和9年3月	96	11,400	54	100
		115,900		

- (9) 契約期間：自 令和8年4月1日 0時 ~ 至 令和9年3月31日 24時  
 (10) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (11) 需給地点：需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (12) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (13) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (14) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第1) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野射撃場で使用する電気
種 別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野射撃場で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 提出様式例

特 定 電 源 割 当 証 明 書		〇〇年〇月〇日											
〇〇〇〇 〇〇 〇〇 殿		〇〇県〇〇市〇〇 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇											
<p>〇〇年〇半期に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことをここに証する。 また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転したと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。</p>													
<p>1 お客様情報</p> <p>お客様番号            〇〇〇〇          需要施設名            〇〇〇〇          需要施設住所        〇〇県〇〇市〇〇          契約電力              〇〇〇〇 kW</p>													
<p>2 供給期間</p> <p>〇〇年〇月〇日～〇月〇日</p>													
<p>3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）</p>													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）							
1 再エネ電気							
供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)				
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇				
合計 (kWh)							
2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）							
供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号		
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日			
合計 (kWh)							
合計 (kWh)			<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">総計 (kWh)</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>			総計 (kWh)	
総計 (kWh)							

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

- 1 件 名： 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 68kw  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 154,500KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		68	11,000	43	100
令和8年5月		68	10,700	41	100
令和8年6月		68	15,300	42	100
令和8年7月		68	15,600	64	100
令和8年8月		68	14,700	18	100
令和8年9月		68	16,500	40	100
令和8年10月		68	14,000	30	100
令和8年11月		68	11,900	47	100
令和8年12月		68	12,100	50	100
令和9年1月		68	9,900	47	100
令和9年2月		68	13,500	51	100
令和9年3月		68	9,300	27	100
			154,500		

(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 100% とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種 別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率100%)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離した電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>



## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

- 1 件 名： 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 68kw  
 但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。  
 (7) 予定使用電力量： 154,500KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		68	11,000	43	100
令和8年5月		68	10,700	41	100
令和8年6月		68	15,300	42	100
令和8年7月		68	15,600	64	100
令和8年8月		68	14,700	18	100
令和8年9月		68	16,500	40	100
令和8年10月		68	14,000	30	100
令和8年11月		68	11,900	47	100
令和8年12月		68	12,100	50	100
令和9年1月		68	9,900	47	100
令和9年2月		68	13,500	51	100
令和9年3月		68	9,300	27	100
			154,500		

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 60% とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>  
 (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時  
 (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (12) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種 別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>



## 仕様書 C (再生可能エネルギー比率 30%以上)

- 1 件 名： 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 68kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 154,500KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		68	11,000	43	100
令和8年5月		68	10,700	41	100
令和8年6月		68	15,300	42	100
令和8年7月		68	15,600	64	100
令和8年8月		68	14,700	18	100
令和8年9月		68	16,500	40	100
令和8年10月		68	14,000	30	100
令和8年11月		68	11,900	47	100
令和8年12月		68	12,100	50	100
令和9年1月		68	9,900	47	100
令和9年2月		68	13,500	51	100
令和9年3月		68	9,300	27	100
			154,500		

- (9) 供給電気の種類等：  
 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再エネ比率 30%以上とすること。  
 参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <http://there100.org/going-100>
- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
- (11) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。
- (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書C (再生可能エネルギー比率30%以上)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中100%を保持する予定。
- (2) リック発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

<b>自家発電 (Self-generated electricity)</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力 (Purchased electricity)</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成



## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

- 1 件 名： 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気  
 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町  
 3 業種及び用途： 官公庁 (教育訓練)

4 仕 様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 交流 3 相 3 線式  
 (2) 供給電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (3) 計量電圧 (標準電圧)： 6,000V  
 (4) 標準周波数： 60Hz  
 (5) 受電方式： 1 回線受電  
 (6) 契約電力： 常時電力 68kw

但し、各月の契約電力 (常時電力) は、その月の最大需要電力と、前 11 ヶ月の最大需要電力のうちいずれか大きい値とする。

- (7) 予定使用電力量： 154,500KWH (月別予定使用電力量は下記のとおり)  
 (8) 月別予定使用電力量：

年月	項目	契約電力 (KW)	使用電力量 (KWH)	前年最大電力	力率 (%)
令和8年4月		68	11,000	43	100
令和8年5月		68	10,700	41	100
令和8年6月		68	15,300	42	100
令和8年7月		68	15,600	64	100
令和8年8月		68	14,700	18	100
令和8年9月		68	16,500	40	100
令和8年10月		68	14,000	30	100
令和8年11月		68	11,900	47	100
令和8年12月		68	12,100	50	100
令和9年1月		68	9,900	47	100
令和9年2月		68	13,500	51	100
令和9年3月		68	9,300	27	100
			154,500		

- (9) 契約期間：自 令和8年4月1日 0時 ～ 至 令和9年3月31日 24時  
 (10) 電力量の検針等：自動検針装置 有  
 検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。また、契約種別に変更がある場合は、自動検針装置において、変更後の契約種別に対応した表示に変更すること。  
 (11) 需給地点： 需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
 (12) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
 (13) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
 (14) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第1) で半期ごとに提出することとする。

件 名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種 別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地

## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

### 5 その他

- (1) 力率は、その月の平均力率とし、使用期間中 100%を保持する予定。
- (2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- (3) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (4) 入札価格の算定にあたっては、燃料調整費、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 提出様式例

特 定 電 源 割 当 証 明 書	○○年○月○日												
○○○○ ○○ ○○ 殿	○○県○○市○○ 株式会社○○○○ 代表取締役 ○○ ○○												
<p>○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。          また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。</p>													
1 お客様情報 お客様番号           ○○○○ 需要施設名           ○○○○ 需要施設住所       ○○県○○市○○ 契約電力             ○○○○ kW													
2 供給期間 ○○年○月○日～○月○日													
3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生可能由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再生可能比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）					
1 再生可能電気					
供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)		
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○		
合計 (kWh)					
2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）					
供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	証書番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					
合計 (kWh)					

## 仕様書 A (再生可能エネルギー比率 100%)

- 1 件名： 今津駐屯地で使用する電気 (低圧)
- 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町 (別表のとおり)
- 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務、教育訓練)

### 4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 別表のとおり
- (2) 供給電圧 (標準電圧)： //
- (3) 計量電圧 (標準電圧)： //
- (4) 標準周波数： 60
- (5) 受電方式： 別紙のとおり
- (6) 契約電力： //
- (7) 予定使用電力量： //
- (8) 月別予定使用電力量： //
- (9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再生可能エネルギー比率 100% とすること。

参照：付紙第 1 「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

- (10) 契約期間：自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ～ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
- (11) 電力量の検針等：自動検針装置 無  
検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。
- (12) 需給地点：需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。
- (13) 電気工作物の財産分界点：電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。
- (14) 保安上の責任分界点：電気工作物の財産分界点に同じとする。
- (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 2) で半期ごとに提出することとする。

### 5 その他

- (1) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (2) 入札価格の算定にあたっては、燃料費調整、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気 (低圧)
種別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地



## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>



## 仕様書 B (再生可能エネルギー比率 60%以上)

- 1 件名： 今津駐屯地で使用する電気（低圧）
- 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町（別表のとおり）
- 3 業種及び用途： 官公庁（国家事務、教育訓練）

### 4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 別表のとおり
- (2) 供給電圧(標準電圧)： //
- (3) 計量電圧(標準電圧)： //
- (4) 標準周波数： 60
- (5) 受電方式： 別紙のとおり
- (6) 契約電力： //
- (7) 予定使用電力量： //
- (8) 月別予定使用電力量： //
- (9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電力を供給することとし、その電力は再エネ比率 60%以上とすること。

参照：付紙第1「RE100 technical criteria」の概要 <https://www.there100.org/technical-guidance>

- (10) 契約期間：自 令和8年4月1日 0時 ～ 至 令和9年3月31日 24時
- (11) 電力量の検針等： 自動検針装置 無  
検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。
- (12) 需給地点： 需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。
- (13) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。
- (14) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。
- (15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面(付紙第2)で半期ごとに提出することとする。

### 5 その他

- (1) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
- (2) 入札価格の算定にあたっては、燃料費調整、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気（低圧）
種別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地



## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス (バイオガスを含む)
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>



## 仕様書C (再生可能エネルギー比率30%以上)

- 1 件名： 今津駐屯地で使用する電気（低圧）  
2 需要場所： 滋賀県高島市今津町（別表のとおり）  
3 業種及び用途： 官公庁（国家事務、教育訓練）

### 4 仕様： 下記のとおり

- (1) 供給電気方式： 別表のとおり  
(2) 供給電圧(標準電圧)： 〃  
(3) 計量電圧(標準電圧)： 〃  
(4) 標準周波数： 60  
(5) 受電方式： 別紙のとおり  
(6) 契約電力： 〃  
(7) 予定使用電力量： 〃  
(8) 月別予定使用電力量： 〃  
(9) 供給電気の種類等：

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電気は再エネ比率30%以上とすること。

参照：付紙第1「RE100 technical criteria」の概要 <http://there100.org/going-100>

- (10) 契約期間： 自 令和8年4月1日 0時 ～ 至 令和9年3月31日 24時  
(11) 電力量の検針等： 自動検針装置 無  
検針日は毎月1日とし、1日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。  
(12) 需給地点： 需要場所構内第1柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。  
(13) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。  
(14) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。  
(15) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、書面(付紙第2)で半期ごとに提出することとする。

### 5 その他

- (1) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。  
(2) 入札価格の算定にあたっては、燃料費調整、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気（低圧）
種別	仕様書
	陸上自衛隊 今津駐屯地



## 「RE100 technical criteria」の概要

「RE100 technical criteria<sup>(※)</sup>」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

<b>自家発電 (Self-generated electricity)</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力 (Purchased electricity)</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離れた電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA をもとに作成



## 仕様書 D (再生可能エネルギー比率に係る条件なし)

- 1 件名： 今津駐屯地で使用する電気 (低圧)
- 2 需要場所： 滋賀県高島市今津町 (別表のとおり)
- 3 業種及び用途： 官公庁 (国家事務、教育訓練)
- 4 仕様： 下記のとおり
  - (1) 供給電気方式： 別表のとおり
  - (2) 供給電圧 (標準電圧)： //
  - (3) 計量電圧 (標準電圧)： //
  - (4) 標準周波数： 60
  - (5) 受電方式： 別紙のとおり
  - (6) 契約電力： //
  - (7) 予定使用電力量： //
  - (8) 月別予定使用電力量： //
  - (9) 契約期間： 自 令和 8 年 4 月 1 日 0 時 ~ 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 時
  - (10) 電力量の検針等： 自動検針装置 無  
検針日は毎月 1 日とし、1 日に検針を行うことが出来ない場合は、翌日以降に行うものとする。計量は、計量器により記録された値によるものとする。
  - (11) 需給地点： 需要場所構内第 1 柱上に陸上自衛隊今津駐屯地が設置した開閉器の電源側接続点とする。
  - (12) 電気工作物の財産分界点： 電気需給地点に同じとする。但し、取引用計量装置は供給者の所有とする。
  - (13) 保安上の責任分界点： 電気工作物の財産分界点に同じとする。
  - (14) 供給する電力量に占める再生可能エネルギー比率について確認できる資料を、書面 (付紙第 1) で半期ごとに提出することとする。
- 5 その他
  - (1) 仕様書に定めないその他の供給条件については、関西電力(株)管内の一般電気事業者が定める特定規模需要の標準供給条件による。
  - (2) 入札価格の算定にあたっては、燃料費調整、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。

件名	今津駐屯地で使用する電気 (低圧)
種別	仕様書
陸上自衛隊 今津駐屯地	

## 提出様式例

○○年○月○日

特定電源割当証明書

○○○○  
 ○○ ○○ 殿

○○県○○市○○  
 株式会社○○○○  
 代表取締役 ○○ ○○

○○年○半期に以下の通り○○○○に電力を供給したことをここに証する。  
 また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、○○○○に移転したこと、いかなる第三者へも移転されないことをここに証する。

- 1 お客様情報
  - お客様番号 ○○○○
  - 需要施設名 ○○○○
  - 需要施設住所 ○○県○○市○○
  - 契約電力 ○○○○ kW
- 2 供給期間
  - 年○月○日～○月○日
- 3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再エネ比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（○月）

- 1 再エネ電気
 

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
○○発電所	○○県○○市○○	水力	○○
合計 (kWh)			
- 2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）
 

供給元発電署名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転	発電期間	認証番号
○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	○○	○年○月○日～○年○月○日	
合計 (kWh)					

合計 (kWh)



# 入札書

金額 ¥ (消費税等除く)

件名 今津駐屯地で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地

入札保証金 免除

暴力団排除、入札条件、契約条項に関する誓約等

当社は、暴力団排除に関する入札心得に定める事項について誓約します。  
また、上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」、入札条件、「標準契約書等」の契約条項等及び入札実施要項・仕様書等を承諾の上入札見積致します。

上記の金額をもって、入札条件及び契約条項承知のうえ入札致します。

令和8年1月27日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり

## 入札内訳書

※ 単価等は消費税を含んでいても含まなくても可。最終的に合計金額から消費税分を割り戻して消費税相当額を引いた入札頭金額にしてから入札金額とすること。(単価に消費税相当額を含まない場合、そのまま記載のこと)

年 月 日	基本料金 (円/kw)
令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	@ _____ 円 × 510kw × 12月  _____ 円・・・①

年 月	従量料金 (円/kwh)
令和8年4月	@ _____ 円 × 132,500kwh = _____
令和8年5月	@ _____ 円 × 116,500kwh = _____
令和8年6月	@ _____ 円 × 140,400kwh = _____
令和8年7月	@ _____ 円 × 179,800kwh = _____
令和8年8月	@ _____ 円 × 184,600kwh = _____
令和8年9月	@ _____ 円 × 171,100kwh = _____
令和8年10月	@ _____ 円 × 133,100kwh = _____
令和8年11月	@ _____ 円 × 140,000kwh = _____
令和8年12月	@ _____ 円 × 170,900kwh = _____
令和9年1月	@ _____ 円 × 177,300kwh = _____
令和9年2月	@ _____ 円 × 174,000kwh = _____
令和9年3月	@ _____ 円 × 163,600kwh = _____
合計金額	_____ 円・・・②
合計金額 (①+②)	_____ 円
消費税等除いた金額 (入札頭金額)	_____ 円 (入札頭金額)

※内容が見積形式にそぐわない場合は変更しても可。ただし、必ず単価と月別の金額が算出できるものであること。

## 入札内訳書

※ 単価等は消費税を含んでいても含まなくても可。最終的に合計金額から消費税分を割り戻して消費税相当額を引いた入札頭金額にしてから入札金額とすること。(単価に消費税相当額を含まない場合、そのまま記載のこと)

年月/項目	契約電力	重負荷時間電力量	昼間時間電力量	夜間時間電力量	月別使用電力量合計	力率 (%)	月別合計
	(KW)	(KWH)	(KWH)	(KWH)	(KWH)		
	単価	単価	単価	単価	合計金額		
	割引率	金額	金額	金額			
金額							
令和8年4月	510		79,500	53,000	132,500	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年5月	510		69,900	46,600	116,500	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年6月	510		84,240	56,160	140,400	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年7月	510	61,132	48,546	70,122	179,800	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年8月	510	62,764	49,842	71,994	184,600	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年9月	510	58,174	46,197	66,729	171,100	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年10月	510		79,860	53,240	133,100	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年11月	510		84,000	56,000	140,000	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和8年12月	510		102,540	68,360	170,900	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和9年1月	510		106,380	70,920	177,300	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和9年2月	510		104,400	69,600	174,000	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
令和9年3月	510		98,160	65,440	163,600	100	円
	円	円	円	円	円		
	%	円	円	円			
	円						
合計		円		円	円		円

※内容が見積形式にそぐわない場合は変更しても可。ただし、必ず単価と月別の金額が算出できるものであること。

# 入札書

金額 ¥ \_\_\_\_\_ (消費税等除く)

件名 饗庭野演習場で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町

入札保証金 免除

暴力団排除、入札条件、契約条項に関する誓約等

当社は、暴力団排除に関する入札心得に定める事項について誓約します。  
また、上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」、入札条件、「標準契約書等」の契約条項等及び入札実施要項・仕様書等を承諾の上入札見積致します。

上記の金額をもって、入札条件及び契約条項承知のうえ入札致します。

令和8年1月27日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
代理人氏名  
代理人電話番号 \_\_\_\_\_

※ 内訳は別紙のとおり

### 入札内訳書

※ 単価等は消費税を含んでいても含まなくても可。最終的に合計金額から消費税分を割り戻して消費税相当額を引いた入札頭金額にしてから入札金額とすること。（単価に消費税相当額を含まない場合、そのまま記載のこと）

年 月 日	基本料金 (円/kw)
令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	@ _____ 円 × 40kw × 12月 _____ 円・・・①

年 月	従量料金 (円/kwh)
令和8年4月	@ _____ 円 × 7,700kwh = _____
令和8年5月	@ _____ 円 × 7,300kwh = _____
令和8年6月	@ _____ 円 × 9,500kwh = _____
令和8年7月	@ _____ 円 × 10,800kwh = _____
令和8年8月	@ _____ 円 × 10,200kwh = _____
令和8年9月	@ _____ 円 × 10,700kwh = _____
令和8年10月	@ _____ 円 × 8,500kwh = _____
令和8年11月	@ _____ 円 × 8,400kwh = _____
令和8年12月	@ _____ 円 × 7,500kwh = _____
令和9年1月	@ _____ 円 × 7,400kwh = _____
令和9年2月	@ _____ 円 × 8,700kwh = _____
令和9年3月	@ _____ 円 × 7,000kwh = _____
合計金額 (①+②)	_____ 円・・・②
合計金額	_____ 円
消費税等除いた金額 (入札頭金額)	_____ 円 (入札頭金額)

※内容が見積形式にそぐわない場合は変更しても可。ただし、必ず単価と月別の金額が算出できるものであること。

# 入札書

金額 ¥

(消費税等除く)

件名 饗庭野射撃場で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町今津字南大林 2 1 5 6

入札保証金 免 除

暴力団排除、入札条件、契約条項に関する誓約等

当社は、暴力団排除に関する入札心得に定める事項について誓約します。  
また、上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」、入札条件、「標準契約書等」の契約条項等及び入札実施要項・仕様書等を承諾の上入札見積致します。

上記の金額をもって、入札条件及び契約条項承知のうえ入札致します。

令和8年1月27日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり

## 入札内訳書

※ 単価等は消費税を含んでいても含まなくても可。最終的に合計金額から消費税分を割り戻して消費税相当額を引いた入札頭金額にしてから入札金額とすること。（単価に消費税相当額を含まない場合、そのまま記載のこと）

年 月 日	基本料金 (円/kw)
令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	@ _____ 円 × 96 kw × 12月 _____ 円・・・①

年 月	従量料金 (円/kwh)
令和7年4月	@ _____ 円 × 9,800 kwh = _____
令和7年5月	@ _____ 円 × 8,900 kwh = _____
令和7年6月	@ _____ 円 × 9,800 kwh = _____
令和7年7月	@ _____ 円 × 11,000 kwh = _____
令和7年8月	@ _____ 円 × 7,700 kwh = _____
令和7年9月	@ _____ 円 × 8,700 kwh = _____
令和7年10月	@ _____ 円 × 9,300 kwh = _____
令和7年11月	@ _____ 円 × 9,300 kwh = _____
令和7年12月	@ _____ 円 × 9,700 kwh = _____
令和8年1月	@ _____ 円 × 8,300 kwh = _____
令和8年2月	@ _____ 円 × 12,000 kwh = _____
令和8年3月	@ _____ 円 × 11,400 kwh = _____
合計金額 (①+②)	_____ 円・・・②
合計金額	_____ 円
消費税等除いた金額 (入札頭金額)	_____ 円 (入札頭金額)

※内容が見積形式にそぐわない場合は変更しても可。ただし、必ず単価と月別の金額が算出できるものであること。

# 入札書

金額 ¥ (消費税等除く)

件名 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町今津字奈良坂

入札保証金 免除

暴力団排除、入札条件、契約条項に関する誓約等

当社は、暴力団排除に関する入札心得に定める事項について誓約します。  
また、上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」、入札条件、「標準契約書等」の契約条項等及び入札実施要項・仕様書等を承諾の上入札見積致します。

上記の金額をもって、入札条件及び契約条項承知のうえ入札致します。

令和8年1月27日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり

### 入札内訳書

※ 単価等は消費税を含んでいても含まなくても可。最終的に合計金額から消費税分を割り戻して消費税相当額を引いた入札頭金額にしてから入札金額とすること。（単価に消費税相当額を含まない場合、そのまま記載のこと）

年 月 日	基本料金 (円/kw)
令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	@ _____ 円 × 68kw × 12月  _____ 円・・・①

年 月	従量料金 (円/kwh)
令和8年4月	@ _____ 円 × 11,000kwh = _____
令和8年5月	@ _____ 円 × 10,700kwh = _____
令和8年6月	@ _____ 円 × 15,300kwh = _____
令和8年7月	@ _____ 円 × 15,600kwh = _____
令和8年8月	@ _____ 円 × 14,700kwh = _____
令和8年9月	@ _____ 円 × 16,500kwh = _____
令和8年10月	@ _____ 円 × 14,000kwh = _____
令和8年11月	@ _____ 円 × 11,900kwh = _____
令和8年12月	@ _____ 円 × 12,100kwh = _____
令和9年1月	@ _____ 円 × 9,900kwh = _____
令和9年2月	@ _____ 円 × 13,500kwh = _____
令和9年3月	@ _____ 円 × 9,300kwh = _____
合計金額	_____ 円・・・②
合計金額 (①+②)	_____ 円
消費税等除いた金額 (入札頭金額)	_____ 円 (入札頭金額)

※内容が見積形式にそぐわない場合は変更しても可。ただし、必ず単価と月別の金額が算出できるものであること。

# 入札書

金額 ¥

(消費税等除く)

件名 今津駐屯地で使用する電気（低圧）

需要場所 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地

入札保証金 免除

暴力団排除、入札条件、契約条項に関する誓約等

当社は、暴力団排除に関する入札心得に定める事項について誓約します。  
また、上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」、入札条件、「標準契約書等」の契約条項等及び入札実施要項・仕様書等を承諾の上入札見積致します。

上記の金額をもって、入札条件及び契約条項承知のうえ入札致します。

令和8年1月27日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
代理人氏名  
代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり（様式随意）

## 市価調査票

金額 ¥

(消費税等除く)

件名 今津駐屯地で使用する電気  
需要場所 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地  
内容 仕様書のとおり

令和8年1月23日(金) 15時までにメール又はFAXでご返信ください。  
その際、必ず内訳を添付ください(単価等が確認できるもの)。

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり(様式随意)

## 市価調査票

金額 ¥

(消費税等除く)

件名 饗庭野演習場で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町

内容 仕様書のとおり

令和8年1月23日(金)15時までにメール又はFAXでご返信ください。  
その際、必ず内訳を添付ください(単価等が確認できるもの)。

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり(様式随意)

## 市価調査票

金額 ¥ (消費税等除く)

件名 饗庭野射撃場で使用する電気  
需要場所 滋賀県高島市今津町今津字南大林2156  
内容 仕様書のとおり

令和8年1月23日(金)15時までにメール又はFAXでご返信ください。  
その際、必ず内訳を添付ください(単価等が確認できるもの)。

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり(様式随意)

## 市価調査票

金額 ¥

(消費税等除く)

件名 饗庭野演習場廠舎地区で使用する電気

需要場所 滋賀県高島市今津町今津字奈良坂

内容 仕様書のとおり

令和8年1月23日(金)15時までにメール又はFAXでご返信ください。  
その際、必ず内訳を添付ください(単価等が確認できるもの)。

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり(様式随意)

## 市価調査票

金額 ¥ \_\_\_\_\_ (消費税等除く)

件名 今津駐屯地で使用する電気（低圧）  
需要場所 滋賀県高島市今津町今津平郷国有地  
内容 仕様書のとおり

令和8年1月23日（金）15時までにメール又はFAXでご返信ください。  
その際、必ず内訳を添付ください（単価等が確認できるもの）。

令和 年 月 日

分任契約担当官  
陸上自衛隊今津駐屯地  
第397会計隊今津派遣隊長 山崎 大輔 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

代理人氏名

代理人電話番号

※ 内訳は別紙のとおり（様式随意）